

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	遠位悪性胆管狭窄におけるフルカバーメタルステントの内視鏡的抜去に関する検討
該当者	2017/1/1～2023/12/31にかけて当院で胆管金属ステント留置の治療を受けられた方
当院の研究責任者	消化器内科 赤松学
研究代表者	消化器内科 赤松学
本研究の目的	悪性胆管狭窄に対してはメタルステントの留置が有効とされておりますが、その抜去が必要となるケースもしばしばあり、安全な抜去の方法等について検証することを目的としています。
実施予定期間	2024年2月1日～2024年12月31日
研究の方法	これまでに当院で胆管にメタルステントを留置する治療を受けられた方の電子カルテに記載のある診療情報をもとに検討を行います
研究に用いる試料・情報の種類	電子カルテから得られる臨床情報
外部への試料・情報の提供・公表	調査研究成果を第60回 日本胆道学会学術集会で公表する予定です。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	消化器内科 赤松学 023-685-2626